

令和8年度 第16回科学の甲子園大阪府大会 実施要項

1 目 的

府内の高等学校、支援学校高等部、中等教育学校後期課程及び高等専門学校の生徒等を対象に、科学技術、理科、数学等における複数分野の競技を開催することにより、科学に興味のある生徒を増やすとともに、生徒の科学に関する知識や技能の向上を図る。

- 2 主 催 大阪府教育委員会
共 催 大阪工業大学

- 3 日 時 令和8年10月25日（日） 8時50分～16時00分

- 4 場 所 大阪工業大学 梅田キャンパス

5 出場資格

- (1) 大阪府内に設置されている国立、公立、私立の高等学校、支援学校高等部、中等教育学校後期課程及び高等専門学校（以下、「高等学校等」という）の生徒等であること。
- (2) 出場は1校1チームとする。出場チームは、同一の高等学校等に在籍し、高等学校1、2学年に相当する学年の生徒6名で編成していること。
- (3) 生徒が在籍する高等学校等の教員が引率できること。

6 競技内容

- (1) 筆記競技（60分）と実技競技（140分）（予定）を実施する。
- (2) 筆記競技は、理科（物理・化学・生物・地学）、数学、情報の中から、習得した知識をもとにその活用について問う問題で競うものとする。なお、教科・科目の枠を超えた融合的な問題を出題することがある。
- (3) 実技競技は、科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等により課題を解決する力を競うものとする。
なお、科学の甲子園大阪府大会エントリー校を対象に、「令和8年度科学の甲子園大阪府大会実技競技対策基礎実験講座」を令和8年9月12日（土）大阪工業大学梅田キャンパスにて開催し、実験・実習における基本的な技術の習得を図る。

7 競技の形式

筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが問題等を分担、相談するなど協働して成果を創出し、その成果を競い合う形式のものとする。

競技数、競技者数、配点及び競技時間は以下のとおりとする。

種目	競技数	競技者数	配点	競技時間
①筆記競技	1競技	6名／1競技	180点満点	60分／1競技
②実技競技 （レポート・実演）	1競技	6名／1競技	180点満点	140分／1競技 （予定）

8 表彰等

- (1) 主催者が定めた審査委員会が、各競技の成績点数の合計（360 点満点）によって優勝チームを決定する。
- (2) 総合順位の上位 8 位までを入賞とし、上位 3 位まで表彰する。
- (3) 実技競技の 1 位については、別途表彰（大阪工業大学 サイエンステクノロジー賞）する。
- (4) なお、総合 1 位の学校は、令和 9 年 3 月 19 日（金）から 22 日（月）までの 4 日間、つくば国際会議場及びつくばカピオで開催される「第 16 回科学の甲子園全国大会」に大阪府代表として出場する。

9 応募方法

学校長の推薦を受けて、別紙応募用紙に記入の上、下記提出フォームより電子ファイル（ファイル名：（学校名）_R08 科学の甲子園応募用紙.xlsx）を提出すること。

<https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/2a4f1faa-ed1c-4c47-8838-80aff09e9e43/start>

10 参加申込み期限

令和 8 年 8 月 28 日（金）

11 その他

競技選手の変更については以下のとおりとする。

各競技には事前に参加登録した生徒以外は参加できない。ただし、病気や体調不良等の事情により当日参加できない生徒がいる場合は、補欠として登録した者（2 名以内）と変更することができる（変更は、開会式までに申し出ること。開会式後の選手の変更は認められない。）。

12 実技競技に必要な準備について

実技競技では、Python を用いたプログラミングを行います。Python が利用可能な環境として、各校において最低 1 台の Windows 端末（Windows 11）をご持参ください。

なお、Arm 系 CPU を搭載した端末では必要なソフトウェアのインストールが困難となる可能性があるため、x86(x64)系 CPU を搭載した端末を推奨いたします。

必要なソフトウェアのインストールについては、基礎実験講座にて実施いたします。